

シルバー連合会

ふくおか

FUKUOKA No. 48

第48号
令和5年2月発行

- インボイス制度について 1
- 会長挨拶 2
- 令和4年度の主な取り組み結果 3-4

- 安全就業について 5
- センターの映える写真特集 6
- 子育てマイスター報告・会員募集 7



大木町シルバー人材センター会員
森山 峰熙 さん

八女郡黒木町

公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

01 インボイス制度とは?

令和5年10月1日から導入されるインボイス制度については、最近、新聞やテレビなどで目にすることも増えてきました。

「インボイス(=適格請求書等保存方式)」とは、適用税率や消費税額などの一定の事項が記載された請求書や納品書、領収書等のことです。

このインボイスは、消費税を自ら国に納税する「課税事業者」でなければ交付することができません。

インボイス制度
大きな影響を及ぼす
センター事業運営に

インボイス制度実施

令和5年10月1日~

インボイス制度が実施されると、登録事業者ではない会員に支払う配分金に係る消費税1,000円は、センターが行う消費税申告において仕入税額控除ができず、新たな経費負担が生じることになります。



受け取った消費税から支払った消費税を差し引けず運営に大きな影響

02 なぜ、センター運営に影響するのか?

センターで請負・委任により受注した仕事をする会員は、法律上は「個人事業主」であり、自ら消費税を税務署に納める必要がありますが、売上額が年間1,000万円以下の場合、「免税事業者」に該当しますので、会員が自ら納税をする必要はありません。これまで、「課税事業者(納稅事業者)」であるセンターは、発注者から消費税込の対価を受け取り、会員の皆さんへの配分金、センターの運営に要する費用、消費税の支払いに充ててきました。このときに、会員の皆さんに支払う配分金には内税として消費税が含まれていることから、その相当額を差し引いて消費税を支払っていました。ところが、令和5年10月からは、センターが支払う消費税から、配分金に含まれる消費税相当額を差し引くことができなくなります。一定期間(6年間)の経過措置はありますが、センターの納付税額は段階的に大きくなり、事業運営に大きな影響を及ぼします。

03

インボイス導入に向けての対応策

「新たな経費負担」への対応については、各センターにおいて発注者との関係や財政事情等を踏まえ、現段階では、①発注者から受け取る料金の引き上げ、②会員の皆様への配分金の配分方法の見直しなどの対応が検討されているところです。また、国においては、個人事業者の保護とあわせてインボイス制度の影響を緩和することの検討が行われています。



会長挨拶

令和5年度を 迎えるに当たって

公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会
会長 内田 敏夫



会員の皆様、役職員の皆様におかれましては平素から連合会の活動に御協力いただきしております、感謝申し上げます。

さて、令和4年度も終盤を迎えました。今年度は、新型コロナの自粛要請の緩和や雇用情勢の持ち直しを受け、会員数は、2年連続の大幅な減少によく歯止めがかかり、前年度水準とほぼ同程度で推移しています。

また、消費税のインボイス制度の実施に対しシルバー事業への特例措置を求める草の根運動については、センターの皆様に御尽力いただき県内の19の市町村議会及び県議会でセンターの安定的な運営がなされるよう意見書を採択していただきまし

たが、特例の導入には至りませんでした。しかしながら、今回の取組みを通じ与党や政府などの多くの関係者にセンターの抱える問題を伝えることができたと考えており、特例に代わる対策としてセンターの運営基盤を強化するための予算措置や請負・委任に係る契約方式の見直しなどが提案されています。

今年10月にインボイス制度は施行されますが、少子高齢化が進行する中でシルバー人材センターは地域の支え手として、今後ますます大きな役割を果たすことが期待されています。センター及び連合会が一丸となってこの難局を乗り切っていきたいと考えています。

シルボンヌ福岡県大会を開催しました

令和5年1月26日(木)13時からJR九州ホールで女性会員の拡大と更なる活躍を目指し「シルボンヌ福岡県大会」が開催されました。「シルボンヌ」とはシルバー人材センターの女性会員を指す言葉で、英語の「シルバー」とフランス語の「ボンヌ」(お手伝い、親切な、優れたという意味を持つ)を合わせた造語です。一般の方にも参加していただき、活動紹介、手作り作品等の展示・販売と介護に関する講演などを行いました。



4センターのシルボンヌ活動紹介



展示販売

9センターが日々の活動で製作した手作り小物や農産物などの販売を行いました。

作品紹介

サザエさん体操



株式会社
あおいけあ代表
加藤忠相さんの講演

「命ある限り、利用者に寄り添い一人の人間として支える」介護は多くの参加者に感銘を与えた。



シルボンヌ宣言

大木町シルバー人材センターの石川澄代さんが仕事や趣味を活かした事業を通じ笑顔の花を咲かせ活動することなどの「シルボンヌ宣言」を行い、県内シルボンヌのたくさんの笑顔を繋いだ映像とともに閉会となりました。

令和4年度 定時総会報告



令和4年6月17日(金)13時30分から福岡県中小企業振興センターにおいて、令和3年度定時総会を開催しました。内田 敏夫連合会会長のあいさつに始まり、総会の議長には、公益社団法人古賀市シルバー人材センター矢野 博昭理事長が選出され、議事が進められました。当日審議された議事は、令和3年度事業報告、令和3年度決算報告及び監査報告、役員の選任でした。理事1名の辞任に伴い、後任者として公益社団法人築上町シルバー人材センター白石 平八郎理事長が選任されました。いずれも満場一致で原案通り可決承認されました。

シルバー事業に係る 県知事に対する要請活動を行いました



令和4年12月19日に当連合会の内田会長、村地副会長が県に対する要請行動を実施し、服部 誠太郎福岡県知事(代理 石橋 裕次福岡県労働局長)と桐明 和久福岡県議會議長に要請文をお渡しました。県からの支援に感謝申し上げるとともに、これまでと同様の支援と、今後始まるインボイス制度の対応に対する支援などを要請しました。県労働局長と県議會議長からは、できる限り取り組んでいきたいとの回答がありました。



左から内田会長、
石橋労働局長



左から村地副会長、内田会長、
桐明県議會議長

令和4年度 連合会事業報告

高齢者人材確保育成事業

シルバー人材センターでの就業に役立つような技能講習会の開催や、シルバー人材センターのことを知つていただくための就業体験、セミナーなどを実施し、多くの方に参加していただきました。



技能講習会(剪定・チェーンソー)



就業体験(季節のリース作り)



シニア応援セミナー(北九州市)

シルバー人材センター職員向け研修・会議

会員拡大に関する事、会計業務やインボイス制度に関する事、契約に関する事、安全・適正就業に関する事、子育て・福祉・家事援助サービスに関する事、派遣事業に関する事など数多くの課題に対する事務局職員向け研修会や会議を実施しました。

令和
4年度

安全就業促進大会

内田会長挨拶

安全就業促進大会が、11月29日(火)、福岡市東市民センターで開催されました。

今年度も新型コロナ禍のため、参加者を制限する中での開催となりましたが、県内42センターから会員・安全就業推進委員など235名の方が参加されました。



安全就業優良センター表彰

式次第

開会のことば

有吉武雄安全・適正就業対策委員会委員長
(宮若・小竹シルバー人材センター理事長)

安全就業優良センターの表彰(12SC)

安全標語の入賞発表、表彰(8名)

安全・適正就業対策委員会報告

事例発表

田中信幸太宰府市シルバー人材センター
安全・適正就業委員会委員長

安全講話

「運転行動の見直し～原点回帰～」
一般社団法人日本自動車連盟福岡支部 庄島恭博氏

記念講演

「高年齢者の安全衛生～依存に注意～」
藤代一也産業医、福岡医療クリニック院長

安全就業宣言

西岡章飯塚市シルバー人材センター
安全・適正就業委員会委員長

閉会のことば

田篠安全・適正就業対策委員会副委員長
(朝倉市シルバー人材センター事務局長)



安全・適正就業
パトロールでの
情報交換会



安全・適正就業
パトロールでの
現場視察

安全就業について

12月までの傷害・賠償事故について、合計の件数は減少(対前年)していますが、就業後、帰宅途中にバイクで転倒し入院が180日を超えた事故と、剪定班の会員が就業中にチェーンソーで死亡する事故の2件の重篤事故が発生しました。死亡事故については、連合会の安全・適正就業対策委員会による事故調査を行うとともに、関係者を対象にチェーンソー研修会を実施しました。また、安全・適正就業対策委員会では、安全な就業を目指して今年度も7月から9月に8センターのパトロールを実施し、調査が必要と思われる事故については、同委員会による事故調査及び、再発防止のための助言等を行っています。

今年度の12月までの事故の特徴(対前年)としては、①傷害事故は剪定作業における電動工具による事故が増加していること、②賠償事故は石飛が全体の50%強と依然として多い中、剪定作業の事故が増加していることが挙げられます。剪定作業に従事される方は注意をお願いいたします。また、石飛事故については、防護ネットの使用、見張り役の設置、刈払い機の回転スピード調整、刈る草の高さの調整などTPOに適った調整で、事故は無くなるものと思われます。除草作業に従事される皆さんのご協力をお願いいたします。

日々健康管理に留意し、余裕を持った作業で、継続して安全就業に努めていきましょう。



大牟田市

除草・剪定作業後のゴミを回収し、処理場へ運搬している清美班(せいびはん)の会員。

大量のゴミをダンプに乗せる力仕事ですが、現場には塵ひとつ残さない丁寧な仕事が自慢です!

会員さんのかっこいい姿をもっと多くの人たちに知ってもらいたい、シルバーのイメージを変えたいとの思いで撮影しました。構図や表情、立つ姿勢にもこだわっています。



撮影者 魚住 春美 さん



新宮町

現在約70名のシルボンヌ(女性会員)が新宮町の施設で受付や清掃を中心に活動しています。さらなる会員拡大のため、女性理事を中心に「新しいことにチャレンジしよう」という機運が高まり様々な取り組みを計画中です。

新宮町事務局だより1月号の表紙を飾ったお二人。センターkirrの仲良しコンビです。撮影の中も笑顔が一杯。地域の子育て支援のボランティアとしても活躍しています。



撮影者 黒川 由美子 さん



特集“映える” やりがいと楽しさは仲間といっしょに

シルバー人材センターの“映える=美しい・目立つ”写真を特集しました。シルバー会員の皆さん、趣味や特技、またこれまで培ってきた技術を活かして地域を支え、様々な場所で元気に活動しています。今回は、楽しく生き生きと活動している4センターのベストショットを紹介します。

写真は、手作り同好会(和・若葉)とボランティア同好会(忘れな草)です。日頃の皆さんの様子そのままに撮影しました。何事も全力で楽しむステキなシルボンヌさんです。



撮影者 安仲 美鈴 さん

みやこ町

みやこ町のシルボンヌはとても元気です。福祉・家事援助、子育て委員会を中心となり、女性会員限定バスハイク、女子会などの活動を行っています。会員互助会の同好会も女性会員主導で活発に活動しています。



写真で会員さんの笑顔を引き出すため、いつも局長とコンビで撮影に向います。今回も13人全員の笑顔を撮ることと場所にもこだわり、時間をかけて撮影しました。



撮影者 森山 峰熙 さん

大木町

会員募集の撮影のために集まってくれた、おおき循環センターで就業する皆さん。かっこよく撮りたいと、大牟田市シルバーさんの許可をいただき構図をまねることにしました。「この笑顔が大木町らしいね。」と広報誌の表紙を飾る1枚となりました。

あなたも子育てマイスターに なりませんか！



子どもが好き、子どもに関わることをしてみたい、そんな60歳以上の子育て支援に興味関心のある方ならどなたでも、なることができる「ふくおか子育てマイスター」は、豊富な人生経験と知識を持つ高齢者が、地域の子育てを応援する、福岡県独自の制度です。あなたも最新の子育て事情を勉強して仲間になりませんか。

ふくおか子育てマイスターの活動は、お孫さんのお世話をから、保育現場の補助や地域でのボランティア活動、既存の子育て支援団体への加入や、ふくおか子育てマイスターたちで作ったグループでの活動など様々です。自分のできる時に、できる範囲の活動で支えられる人たちがいます。まずは新しい歩みを踏み出してみませんか。きっとあなたのやつてみたい活動が見つかるはずです。

あなたも「ふくおか子育てマイスター」になつて、地域の子育てと一緒に応援しましょう！



お仕事仲間を大募集！



福岡県内在住・60歳以上・働く意欲のある方



あなたがこれまで身につけたキャリアや経験を生かし、一緒に楽しくお仕事しませんか？

シルバー人材センターでは一緒に活動してくださる仲間を募集しています。

仕事以外にも趣味のサークルや互助会での旅行、ボランティアなど様々な活動を実施しています。きっとあなたのやりたいことが見つかるはずです。

お申し込みやお問い合わせはお住いの地域のシルバー人材センターまでご連絡ください。

たくさんのメリット

- 仕事は多様で選べます！
- 報酬が支払われます！
- 働き方が選べます！
- 技能や知識が選べます！
- 生きがいと喜びが得られます！
- 仲間や友人が増えます！

公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル8F

TEL 092-623-5656 FAX 092-623-5677

ホームページ <http://www.fscr.or.jp>



Webサイト